

# 令和3年度（第14回） 神奈川県歯科医師会・口腔外科学術集会のご案内

【主催】 公益社団法人神奈川県歯科医師会  
公益社団法人日本口腔外科学会神奈川県医療連携部会  
（当番幹事：東海大学医学部専門診療学系口腔外科学）

【対象】 歯科医師

【日時】 令和3年10月31日（日）13:00～16:00

【開催方式】 ハイブリッド方式（会場参加とライブ配信の併用）  
・会場参加は定員制（50名、先着順）です。  
・ライブ配信の視聴に定員はありません。



ライブ配信申込

【会場】 神奈川県歯科医師会館（横浜市中区住吉町6-68）

【参加費】 無料

【参加申込】 ライブ配信と会場参加の申込フォームが異なります。

・ライブ配信：<https://ws.formzu.net/dist/S37104100/>

上記URL、あるいは右上のQRコードから申込フォームにアクセスしてください。  
申し込み完了後、自動返信メールが届きます（動画リンク先を記載）。  
ライブ配信に定員はありません。

・会場参加：<https://ws.formzu.net/dist/S53525778/>

ライブ配信の申し込みとURL、QRコードが異なります（QRコードは右下）。  
申し込み完了後、自動返信メールが届きます。会場参加は定員制のため、定員に達した場合は申し込みができません。

・申し込み期限は10月15日です。

【日歯生涯研修事業】

4単位が取得できます。

研修コード 3301 感染予防・消毒滅菌法 2単位

研修コード 2702 外科基本手技 2単位

【問合せ先】 公益社団法人神奈川県歯科医師会事務局  
担当：篠原、今井(美) TEL：045-681-2172



会場参加申込

## 【プログラム】

### ●第1部 教育講演（13:10～14:00）

#### 「歯科医院におけるコロナ対策の実際—ここが勘所—」

座長：石井宏昭／川崎市立多摩病院口腔外科部長

講師：浅井さとみ／東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学准教授  
東海大学医学部付属病院感染対策室長

近年の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染症（COVID-19）の世界的流行を踏まえ、通常実施している標準予防策では感染を十分に予防できない事態が起こった。2021年5月以降ワクチン接種が進む一方、その脅威は必ずしも薄らいでいない。ワクチン接種を先行した国々での感染流行の再燃が見られる。その背景の1つとして、基本的な感染予防策の不徹底が指摘されている。さらに、ワクチン接種者で感染した場合に症状軽減に基づく伝播リスク、あるいはワクチン効果が低減する変異株の拡大が懸念されている。したがって、医療従事者は徹底した感染対策を引き続き行うことが重要である。

歯科、口腔外科の診療ではエアロゾル発生手技が多い。COVID-19と非COVID-19に分類し、COVID-19でなければ安心するといった油断も感染伝播さらに感染流行の再燃をもたらす懸念がある。今回、歯科医院におけるCOVID-19感染対策の取り組みについて具体例を呈示しながら解説する。

### ●第2部 新任教授講演（14:10～14:30）

#### 「新任のご挨拶」

座長：光藤健司／横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学教授

講師：安部貴大／神奈川歯科大学歯学部臨床科学系口腔外科学講座  
口腔外科学分野教授

本学は、1910年に東京女子歯科医学校として設立以来111年目を迎えます。1963年に横須賀への移転以降、神奈川の地で半世紀以上の歴史を重ねておりますが、まずは本学の近況をご報告させていただきます。2017年11月、本学附属病院が次世代型の歯科病院として生まれ変わりました。また、2019年に東京歯科衛生専門学校を開校致しました。そして2020年、2021年と羽田空港ターミナル内に歯科を2施設開院するなど、過去の紆余曲折を乗り越え成長を続けております。なお、本年度より組織再編に伴い、所属名が変更となりました。

私儀、このたび昨年7月より本学口腔外科学講座教授に就任致しました。非力ながら県下地域医療ならびに口腔外科の発展に貢献できますよう誠心誠意尽力致す所存でございますので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願いを申し上げます。誠に僭越ながら、これまでの医学部での勤務歴などを活かして、医科と歯科の架け橋となり得る口腔外科を目指し、さらに地域歯科医師会の先生方との綿密な連携構築によって、広く国民の皆様の口腔健康維持に寄与して参りたいと思っております。

わが国のコロナ禍の発端ともなったクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号が横浜港に停泊する映像は、いまだ脳裏に焼き付いており、以後長期にわたる医療や経済の混迷が続いております。本会が予定される10月末、東京2020オリ・パラも無事閉幕し、コロナ禍が終息しておりますことを心より祈念してやみません。

●第3部 シンポジウム (15:00~16:00)

「抜歯を考える—同じ抜歯でもこんなに違う。

私のやり方からトラブルシューティングまで—」

座長：濱田良樹／鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座教授  
松岡友輔／神奈川県歯科医師会学術委員会副委員長

- 演者：1. 鈴木信治／神奈川県歯科医師会会員（横浜市開業）  
2. 江口貴紀／鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座助教  
3. 鈴木崇嗣／東海大学医学部専門診療学系口腔外科学領域助教  
4. 岡本喜之／藤沢市民病院歯科口腔外科専門医長

抜歯は開業歯科医師、口腔外科医の双方にとって遭遇頻度の高い手術である。基本は同一であるが、施設の条件や症例により様々な術式が行われている。各シンポジストには、それぞれの工夫や考え方、術式の実際、トラブルシューティングを供覧いただき、より安全確実な患者さんに寄り添った抜歯とは何かを考えてみたい。

- ・これは！という抜歯に関するマル秘テクニックと愛用の機材の紹介
- ・ご自身の診療所で実践されている抜歯の実際と下記A～Eに関する見解について
- ・普通抜歯の基本的な術式と抜歯中のトラブル（歯根破折、隣在歯の脱臼、軟組織損傷、抜歯中・抜歯後出血など）への実際の実験に基づいたトラブルシューティング（下記A、B、Eを念頭に）、ならびに術前の画像情報（単純X線、CT所見）より、最初から病院歯科・口腔外科への抜歯依頼をお勧めする症例（難航することが予想される症例）について
- ・下顎の難抜歯（残根、彎曲根、肥大根、癒着根、位置異常、埋伏歯など）の抜歯における基本的な術式と実際の実験に基づいたトラブルシューティング（下記A、B、D、Eを念頭に）について
- ・上顎の難抜歯（残根、彎曲根、肥大根、癒着根、位置異常、埋伏歯など）の抜歯における基本的な術式と実際の実験に基づいたトラブルシューティング（下記A、B、C、Eを念頭に）について

A. 抜けないときはどうするか？

B. 止血困難な抜歯中・抜歯後出血にはどう対応するか？

C. 上顎洞に落としたら

D. 口底に落としたら

E. トラブルに対する歯科診療所での初期対応と病院歯科・口腔外科への紹介のタイミングは？

## 神奈川県歯科医師会館への案内図



JR 桜木町駅・関内駅から徒歩 7 分 横浜市営地下鉄関内駅・桜木町駅から徒歩 5 分  
 みなとみらい線・馬車道駅から徒歩 5 分